

# #01

## 「個」を強くする 教育の質

学生数が多い明治大学ですが、実は少人数授業が充実していて、先生との距離が近いのが魅力の一つ。

先生や仲間との対話の中で、「もっと知りたい」という好奇心が芽生える。そして、その思いに応えるだけの学びの場がしっかりと用意されています。

高い学生満足度は、そうした学習環境が確かに機能している証。ここからあなたの学びが動き出します。



# 思いっきり、学ぼう。

大学の学びで、  
自分自身の成長を実感

# 90%

※明治大学 2024年度「大学における学びに関するアンケート」集計結果報告書(学部編)より

全授業科目のうち  
30人未満の科目

# 54%

「入学後、生徒の満足度が高い大学」  
ランキング私立大学編

# 2nd

※大学通信2025年  
「進路指導教諭が評価する大学私立大学編」より

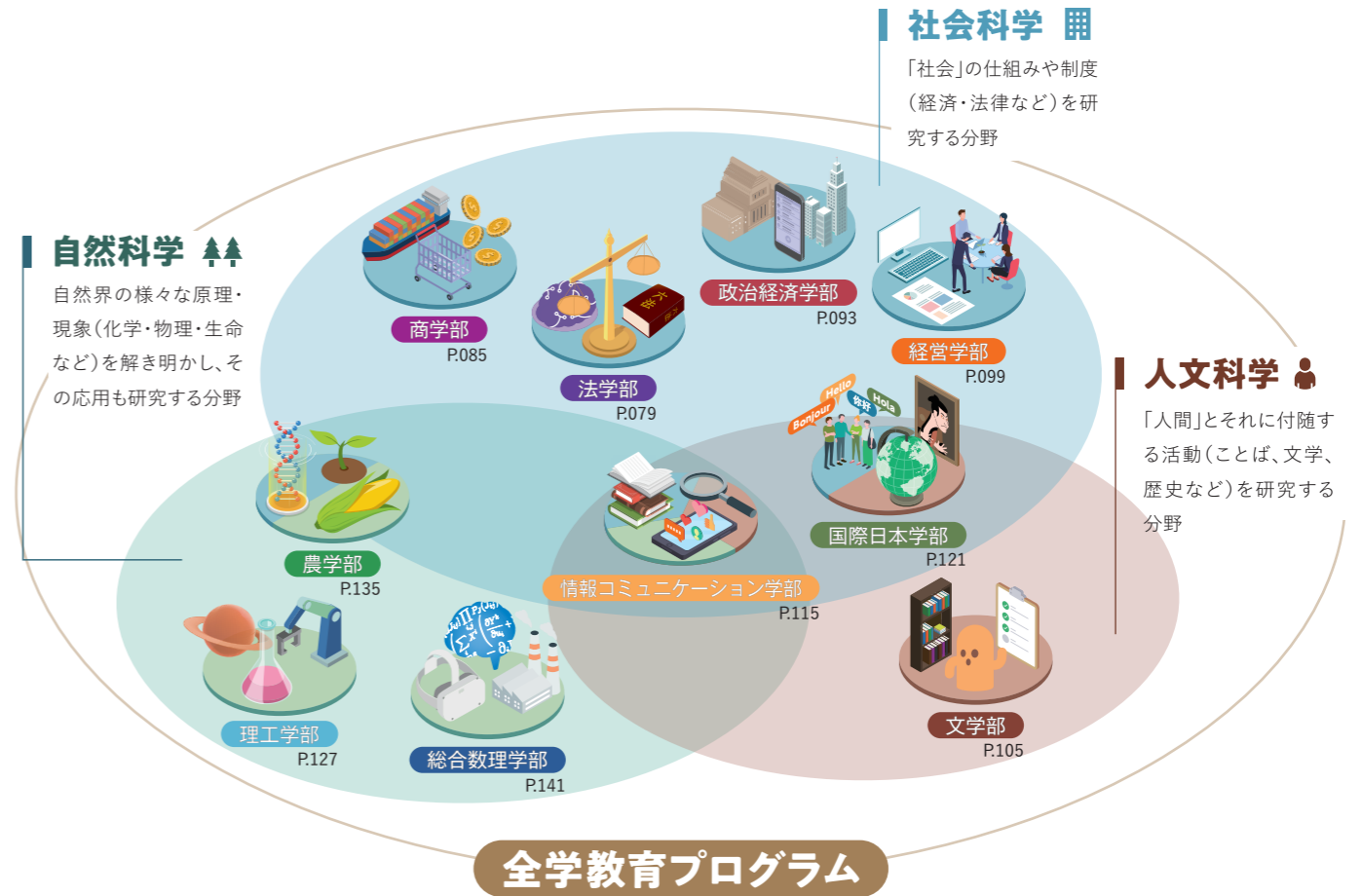


### 全方位の知的好奇心に応える10学部

明治大学は10学部28学科からなる総合大学。幅広い学問領域を網羅しており、学部ごとに特色あるカリキュラムやアクティブラーニングを展開しています。「副専攻プログラム」を活用すれば、専門分野にとどまらず異なる領域へ視野を広げることができ、学びの可能性は無限大に。誰もが自身の興味を出発点として主体的に学びを深め、個性や関心に応じた知の探究を行うことができます。

### 分野を越えた知の交わりを体験

所属する学部が異なっても、分野を横断して学べるプログラムを多数用意しています。外国語やAI・データサイエンスをはじめとし、一般教養からビジネスまで、時代に応じたテーマも柔軟に取り入れた講義を開講。専門を軸にしながら垣根を越えて広がる学びが、さらなる挑戦への原動力となり、未来を切り拓く力へとつながります。



### CHECK “批判的思考”と“多面的思考”を鍛える明治大学の全学教育プログラム

様々な課題が絡み合い存在する現代社会において、重要性の高い2つの力があります。一つは、自分の中の「当たり前」に捉われず、客観的に物事を分析する“批判的思考”。もう一つは、自分と異なる意見も取り入れ、物事を複数の視点から考える“多面的思考”です。大学でこれらを身につけることで、

現代社会の本質を捉え、課題解決に挑める人材となつてほしい。そうした思いから明治大学では、10学部の学びに加え、専門以外の視点にも触れながら2つの思考を鍛えることのできる多彩なプログラムを展開しています。

→ 詳細はP.015、016

複眼的な視野を養う

副専攻で

## 副専攻プログラム

学部を超えて異なる分野を体系的に学べる仕組みとして、副専攻プログラムがあります。自らの専攻と異なる分野の知に触れながら思考する経験は、複雑化する社会課題に複数の視点から対峙し、問題を見出し、問いを立てる力を鍛えます。他学部の授業を履修した後、所定の要件を満たせば「修了証」も取得可能。自専攻から学びを拡げてもう一つの軸を持つことで、自らの視野は広がり、就職活動や大学院進学など将来にも役立つ強みとなります。



詳細をCHECK

### CHECK 2026年度開講プログラム

法と社会と人間から見る「犯罪」/ことばの科学/社会におけるメディア・表象文化/経営学の基礎

#### 副専攻プログラム修了までのイメージ



## Meiji Language Program (学部間共通外国語科目)

学部・学年の枠を超えて開講される外国語科目。ネイティブ・スピーカーによるレベル別の会話中心の授業で、4キャンパスで約150クラスあります。普段学ぶキャンパス以外でも受講が可能です。



### 学べる言語 11言語

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・ロシア語・スペイン語・イタリア語・アラビア語・ラテン語・古典ギリシア語

初級～上級までレベル別のクラスを開講  
初級文法の学修から外国語で討論する実践型講座まで、多様なクラスを用意しています。

この他に、語学検定試験合格を目指し、実践問題を多く解く講座も用意しています。

### CHECK 長期休暇期間には集中講座も実施

外国語会話能力の向上に特化した集中講座を春季・夏季休暇期間中に開講しています。一部にはセミナーハウスで実施する合宿形式の講座もあり、語学漬けの「プチ留学体験」で語学力に一層磨きをかけるだけでなく、切磋琢磨できる仲間と出会うことができます。



詳細をCHECK

他言語を学び、  
世界を広げる



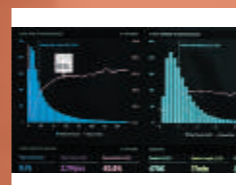
## 全学共通総合講座

学部や文理の枠を超えた学際的授業を提供しています。各分野で活躍するゲスト講師による講義を通じて、教科書では学べない多様な実地体験を聞いて知的好奇心が刺激されたり、学問の視野を広げて多角的なものを見方を養ったりすることができます。

### CHECK 講座の種類

- 1 | リベラルアーツを身につける
- 2 | 海外分野を知る
- 3 | 変わりゆく社会の最先端を知る
- 4 | ビジネスにおける実務力を学ぶ
- 5 | 明治大学を知る

### PICK UP



データサイエンス AI概論  
法律・経済・芸術など幅広い分野におけるAI時代の最新情報を、各分野の専門家が語ります。



ローカルスタンダードをデザインする  
グローバル化による現代社会のひずみを考察し、ローカル視点から社会変革の道筋を考えます。

学問分野・

領域を超えて学ぶ

AI・データサイエンスを学び、  
知っているから活かせるへ

## 数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム



学部を問わず、理論と実践を両立させたカリキュラムでAI・データサイエンスを基礎から学び、専門研究領域や大学卒業後のキャリアにも活かせる力を育てるプログラム。文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に認定されています。



詳細をCHECK

### CHECK 学部独自のプログラム

将来に活かせる専門性とデータ分析能力を養う学部独自の学びも提供しています。理工学部、総合数理学部のプログラムは文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に認定されています。

#### 経営学部

デジタル経営人材開発トラック DIGIT  
データサイエンス×経営学でビジネスに挑戦する  
→ 経営学部ガイドP.10

詳細をCHECK



#### 理工学部

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル) / SST-MDASH  
専門知識とデータサイエンスが生み出す新しい学び  
→ 理工学部ガイドP.05、06

詳細をCHECK



#### 総合数理学部

数理データサイエンス人工知能応用基礎レベルプログラム  
数理科学に基づき社会問題を解決する力を養う  
→ 総合数理学部ガイドP.03、04

詳細をCHECK



# #02

## 「個」を強くする

# 都心型キャンパス

政治・経済・商業・学術・文化——あらゆる分野の中心にあり、約1,400万人の人口を抱える日本の首都・東京。

ダイナミックな変化と古き良き日本の文化をも内包する、活気あふれる“国際都市”に、明治大学のキャンパスはあります。

都心のポテンシャルをフルに活かした学びや遊び、課外活動の先に、豊かな経験が積み重なり、確かな「成長」へとつながります。

### 4つの 都心型 キャンパス

# スケールを 感じる。

## 13.4ヘクタールの 敷地を有する 黒川農場

## 115年の 伝統が息づく 駿河台キャンパス

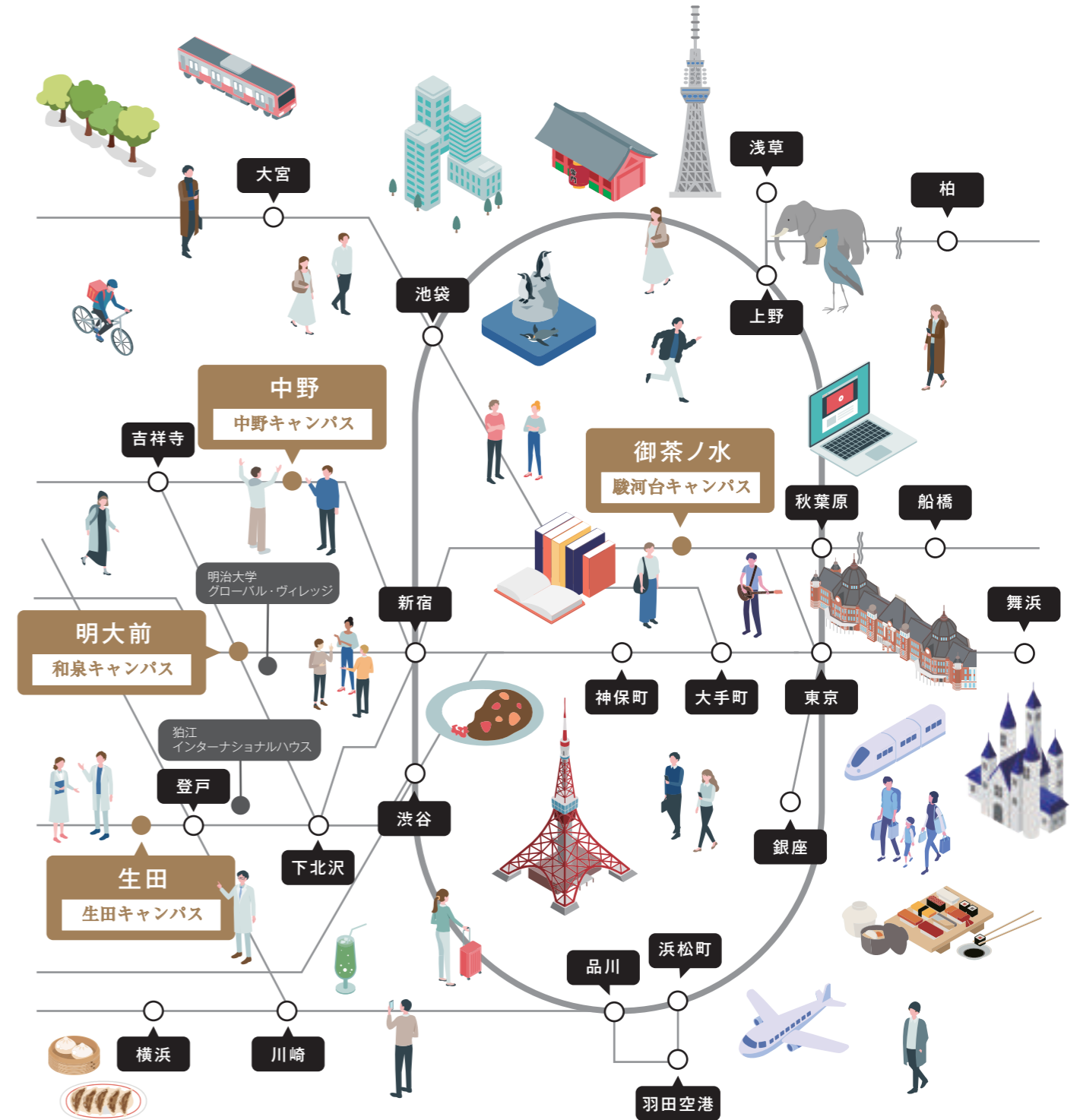
## 高さ約120mの リバティタワー

### 「都心」で学ぶということ

常に膨大な人・モノ・情報が行き交う都心は、学びにも日常にも刺激が多い場所。様々な企業へのインターンシップや起業、豊富な国際交流の機会、ここならではの観光スポット巡りなど、「都心」でしかできない体験にあふれています。そのような環境で得られる新しい発見や多様な価値観との出会いは、自分の視野を大きく広げる機会となるでしょう。

### 明治大学が誇るアクセスメリット

各キャンパス同士はそれぞれ60分以内でアクセスできる立地にあるため、授業や課外活動で他キャンパスに移動する際に便利です。また、東京、新宿、池袋、渋谷など、各キャンパスから都心周辺のあらゆるエリアへのアクセスも抜群。行動の選択肢が身近に豊富にあることも、学生が自ら大学生活の中でやりたいことを見つけ、挑戦していける理由の一つです。



# 駿河台キャンパス

### 設置学部等

- 法学部 ○商学部
- 政治経済学部
- 経営学部 ○文学部
- 情報コミュニケーション学部
- 大学院 ○専門職大学院
- リバティアカデミー
- ※学部は各3・4年次

「世界へ」挑む

明治大学の本拠地

交通至便な千代田区神田駿河台に位置し、最新設備を備えたリバティタワーやアカデミーコモン、中央図書館、研究棟などの施設が並び、大学の本拠地となっています。 詳細はP.044

### キャンパスに近いスポット



### 各キャンパス(最寄駅)までの移動時間

- 和泉キャンパスまで……約25分
- 生田キャンパスまで……約40分
- 中野キャンパスまで……約15分

# 和泉キャンパス

### 設置学部等

- 法学部 ○商学部
- 政治経済学部
- 経営学部 ○文学部
- 情報コミュニケーション学部
- 大学院
- ※学部は各1・2年次

学問への扉が開く、

成長と発見に満ちた教育拠点

京王線と井の頭線が交差する「明大前駅」が最寄り。都心へのアクセスは抜群でありながら、四季折々の植物に囲まれ、施設・設備も充実した開放的なキャンパスです。 詳細はP.045

### キャンパスに近いスポット



### 各キャンパス(最寄駅)までの移動時間

- 駿河台キャンパスまで……約25分
- 生田キャンパスまで……約30分
- 中野キャンパスまで……約20分

# 生田キャンパス

### 設置学部等

- 理工学部 ○農学部
- 大学院
- ※学部は各1~4年次

理工農の知を練り上げ、

創造する研究拠点

多摩丘陵に位置する広大な生田キャンパスは、新宿から約30分の立地でありながら、緑豊かな恵まれた環境が広がり、最新の研究・実験施設や設備が揃えられています。 詳細はP.046

### キャンパスに近いスポット



### 各キャンパス(最寄駅)までの移動時間

- 駿河台キャンパスまで……約40分
- 和泉キャンパスまで……約30分
- 中野キャンパスまで……約35分

# 中野キャンパス

### 設置学部等

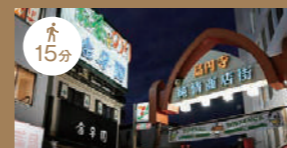
- 国際日本学部
- 総合数学学部
- 大学院
- MIMS(先端数理科学インスティテュート)
- ※学部は各1~4年次

国際化と先端数理研究が融合し、

新たな価値が生まれる拠点

文化・サブカルチャーの発信地としても知られる中野に位置する4番目のキャンパス。周辺地区は、「中野四季の都市(まち)」として再開発され、公園や企業が立ち並びます。 詳細はP.047

### キャンパスに近いスポット



### 各キャンパス(最寄駅)までの移動時間

- 駿河台キャンパスまで……約15分
- 生田キャンパスまで……約35分
- 和泉キャンパスまで……約20分

# #03

## 「個」を強くする 研究力

明治大学は創立以来、常に社会の変化をいち早く捉え、最新の研究成果を社会に還元する大学であり続けています。

研究費の交付金額や多数ある研究拠点、企業との共同研究の数は私立大学の中でもトップクラス。

高水準の研究環境が、多分野にわたり独創的・先駆的な研究に打ち込む学生をしっかりと支援しています。



科学研究費助成事業・  
受託研究・共同研究の  
実績件数<sup>※1</sup>

科学研究費助成事業  
**353**件<sup>※2</sup>

受託研究 共同研究  
**103**件 **169**件

※1 2024年度受入実績

※2 研究代表者の採択分のみ

# 好奇心のままに。

世界水準の研究拠点

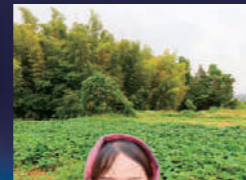
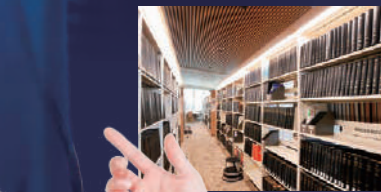
# 17

拠点

外部研究費受入実績<sup>※</sup>

約**16**億**6,375**万円

※ 2024年度実績



### ようこそ、アカデミアへ

大学での学びは、単に知識を受け取るだけではありません。得た知識を批判的に見つめ、自由に問いを立て、対話を通じて多角的に考える。そうして答えを探りながら深めていった先に、新たな発見が待っています。10学部16研究科の基盤を持ち、あらゆる学問分野の最先端の知に触れられる明治大学は、自分の好奇心のままに学べる、まさに理想的なアカデミア。新しい「探究」の世界へ、ようこそ。



### 大学での学びは、すべて「研究」の種になる

研究と聞くと、「難しそう」と感じられるかもしれませんが。しかし実は、大学での学びはすべて、実際の研究成果に触れること。研究者である教員との対話や、授業での問いかけ、図書館で出会った一冊の本——そんな無数の出会いの中から自分の好奇心を刺激するものがあれば、それはあなた自身の研究の種。そして、さらなる学びや出会いを栄養に、自分だけの研究へ、ひいては自分らしい将来へと育てていくことができるのです。



### interview

#### “研究者”であり“教育者”でもある明治大学教員が 研究指導を行ううえで大事にしていること

研究テーマ

山岳地域の複雑な景観は  
どのように作られ  
どのくらい不変的なのか？

佐々木 夏来 専任講師  
文学部史学地理学科地理学専攻



地理学は、人文・社会・自然科学を横断する学際的な学問で、学生は自分の興味に応じて多様な研究テーマを設定します。地理学専攻では1年次から少人数クラスを設置し、野外実習を組み合わせながら、段階的に学びを深められる授業を展開しています。私のゼミでは、3年次にグループ研究を実施し、仲間とともに学ぶことで視野を広げ、4年次の卒業研究に必要な実力を養います。学生が人文・自然の両面から研究できるような環境を整え、その挑戦を応援しています。

研究テーマ

人が幸せに暮らせる  
社会をつくるための  
新しいモノづくりの考え方

井上 全人 教授  
理工学部機械情報工学科



“本物の現場の声”に触れると、学ぶ面白さはぐっと広がるもの。そのため講義では、早くからモノづくりの第一線で活躍する国内外の人の話を聞く機会をつくっています。研究指導では、学生一人ひとりの興味や得意なことを生かせるテーマと一緒に考え、初めて研究成果を英語で発表する学会発表に挑む学生には、「失敗しても次につながる」と伝え、挑戦の第一歩を踏み出せるようにしています。研究を通じ、学生が自分の可能性を広げていける環境づくりに努めています。

### CHECK 明治大学の教員が行う多種多様な研究事例



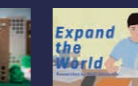
あなたのモヤモヤが  
人権をアップデートする



映画におけるセクシュアル  
マイノリティの表象：  
誰のために映画を作るのか



コンクリートの寿命と  
向き合う一建物を守る  
“仕上材”の研究



マンガの研究で  
「名もなき人々」の  
生活が見える



地球上でもっとも繁栄した  
動物って、なーんだ？



ラテンアメリカの  
移民問題と芸術の役割に  
ついて考えてみる

Meiji.net





誰もが誇れる社会をつくる。  
分野の枠を超えた学びを通して、

interview

## 教育機会を公平にするため、 社会の仕組みを見直していく

研究テーマ 組織社会学／教育の地域間格差

中高生の頃から、リーダーシップ論やスクールカーストといった人と組織の関係に強い関心がありました。社会学をはじめ幅広く学べる環境に惹かれ、情報コミュニケーション学部へ。「組織論」の授業で、組織そのものを理解する面白さに出会ったことをきっかけに、「組織文化に染まると人はどう変化するか」というテーマで卒業論文を執筆しています。一方で、教育の地域間格差という課題にも取り組んできました。地方では、身近な人を通じて都心大学の進学情報にアクセスしにくい状況を踏まえ、リアルな声をもとに大学選びができるよう、母校の生徒向けの進学相談プラットフォームを設立。大学の派遣プログラムで鳥取県を訪れ、地方創生に関する政策立案にも挑戦しました。学びと実践を繰り返す中



で、社会課題を当事者の視点から考える力が磨かれたと感じています。こうした経験を通じて、「生まれ育った環境にかかわらず、誰もがここに生まれてよかったと思える社会をつくりたい」という思いが明確に。教育格差への問題意識を起点に、地域や組織のあり方を多角的に学ぶ中で、社会を動かす仕組みの重要性を実感しました。卒業後は総務省に入省予定。行政の立場から誰かが挑戦でき、未来を築けるような仕組みづくりに挑戦していきたいと考えています。

Road Map

### 学部 4年間の 研究ロードマップ

- ※ 情報コミュニケーション学部へ入学。  
言語学、教育社会学など、興味がある分野を幅広く履修。
- 「組織論」の授業内容に感動し、組織社会学への興味が芽生える。  
文化中毒者\*の概念を知り、「肩書に囚われていた自分も同じ」と痛感。  
※組織の文化に強く染まってしまい、視野が狭まった状態。また、その人。



研究交流員の参加メンバー

- 進学相談プラットフォームを設立。  
同窓会の協力を得て、母校(高校)の生徒向けのWEBコンテンツを運用。



- 学生派遣プログラムで鳥取市の地方創生に挑戦。  
地域の魅力が伝わりきっていない現状を打破すべく、広報戦略を立案。



現地研修で訪れた観光農園

Profile



情報コミュニケーション学部  
情報コミュニケーション学科  
4年  
西原 侑寿さん  
鹿児島県立鶴丸高等学校卒業

Road Map

### 学部・博士前期課程 6年間の 研究ロードマップ

- ※ 総合数理学部へ入学。  
高校時代から数学が好きで、入学後はプログラミングに没頭。
- 研究活動に興味を持つ。  
講義「現象数理学B」の演習で、数理モデル研究の創造性に触れる。
- 中村和幸先生のゼミに所属。  
プログラミングを活かした保険数理のモデル構築を研究。先生や仲間との活発な意見交換で切磋琢磨し、研究の方向性が明確に。
- 大学院へ進学。  
学部での学びを応用した「解釈可能な生成モデル」を追求。



- 台湾での研究発表。  
応用数理ワークショップでの国際交流。研究と語学力、国際会議参加への意欲が高まった。



Profile



先端数理科学研究科  
現象数理学専攻  
博士前期課程2年  
岩井 桃佳さん  
栃木県立石橋高等学校卒業



好奇心の芽を逃さず手を動かし、  
試行錯誤を積み重ねて問いに挑む。

interview

## アカデミアと実務の間に立つ、 アクチュアリーとしての挑戦

研究テーマ 解釈可能な生成モデルによる死因別死亡率予測

高校生の頃から、確率・統計手法を用いて保険料を算定するアクチュアリーという職業に興味がありました。学部ではモデリングを中心に応用数学について学び、特にデータサイエンスの演習などで学んだプログラミングが大変面白く、時間を忘れるほど夢中になったことを覚えています。大学院へ進学した現在は「ニューラルネットワークを用いた死因別死亡率予測のモデル構築」という保険数理分野の研究に取り組んでいます。死因別死亡率は、疾病特化型保険の設計や公衆衛生政策の立案にも活用される重要な指標です。ニューラルネットワークはデータの複雑な特徴を表現できる強力なモデルですが、一方で判断根拠が見えにくいという課題も。こうした背景から、私の研究では、予測精度と解釈性の



両立を追求したモデル構築に挑んでいます。先行研究で提案された解釈性のあるモデルに確率モデルを導入することで、予測精度と実務活用での有用性向上を目指しています。自身のモデルに対して、客観的かつ批判的に向き合うことは、自分にとって厳しい姿勢を一貫することでもあります。しかし、そういった困難からも目を逸らさずに研究に對峙することこそが、新たな課題へ挑戦する面白さだと感じています。

CHECK 明治大学ではどんな研究ができる？ 学生目線の“研究室紹介”記事

MeijiNOW  
明治とつながる 今をつたえる



食糧問題の  
解決を目指す研究室



社会問題の解決につながる  
「愛ある金融」を研究する研究室



産業用ロボットの  
課題を解決する研究室



近現代日本の文学からJ-POPの  
歌詞まで研究する研究室



AI技術を活用してスマート  
シティを創造する研究室

# #04 「個」を強くする 支援制度

明治大学では、学生が物理的・心理的・経済的な負担を理由に挑戦を諦めることのないよう、多様な支援制度を用意しています。「制度」の充実はもちろんのこと、留学生と生活をともにできる寮やキャンパス内のラーニング・コモンズといった「場所」の整備も、すべては学生の「やってみよう」という意欲を引き出すため。挑戦するあらゆる意欲に応える環境が、すべての学生の自律心を育み、成長を力強く支えます。

# 臆することなく。

就職支援  
イベント

年間 **420** 回※  
※2024年度実績

全学部の学生が  
参加できる  
中長期・短期留学  
プログラム数

**292** 件

大学独自給付型  
奨学金の数

**13** 種類

## 学生のうちに挑戦できること

留学や研究、インターンシップ、ボランティアにサークル活動——大学生活は、あらゆる「挑戦」の宝庫です。やりたいことを見つけ没頭し、自分の可能性を無限に上げられるチャンスにあふれています。恐れず視野を広げ、自分の将来につながる出会いがきっと待っています。

## 「充実したキャンパスライフ」の後ろ盾

新しいことを始める時は、いつだって不安や悩みがつきもの。明治大学は、どんな小さな疑問でも気軽に相談できるサポートセンターや支援制度を整えています。教員や職員、先輩もが学生一人ひとりの挑戦を全力でバックアップしているから、誰もが安心して自分らしい未来へと進んでいくことができるのです。

### » Hint 大学生活における選択の機会

#### ▶ 学業

単位修得がゴールではありません。得た知識をどう生かし、新たな挑戦に結びつけるかを考えることが、自分の成長へとつながります。

#### ▶ 就業体験(インターンシップ)

実際の職場を早期に体験しながら社会の仕組みを学ぶことで、大学卒業後のキャリアや将来像の具現化につながります。

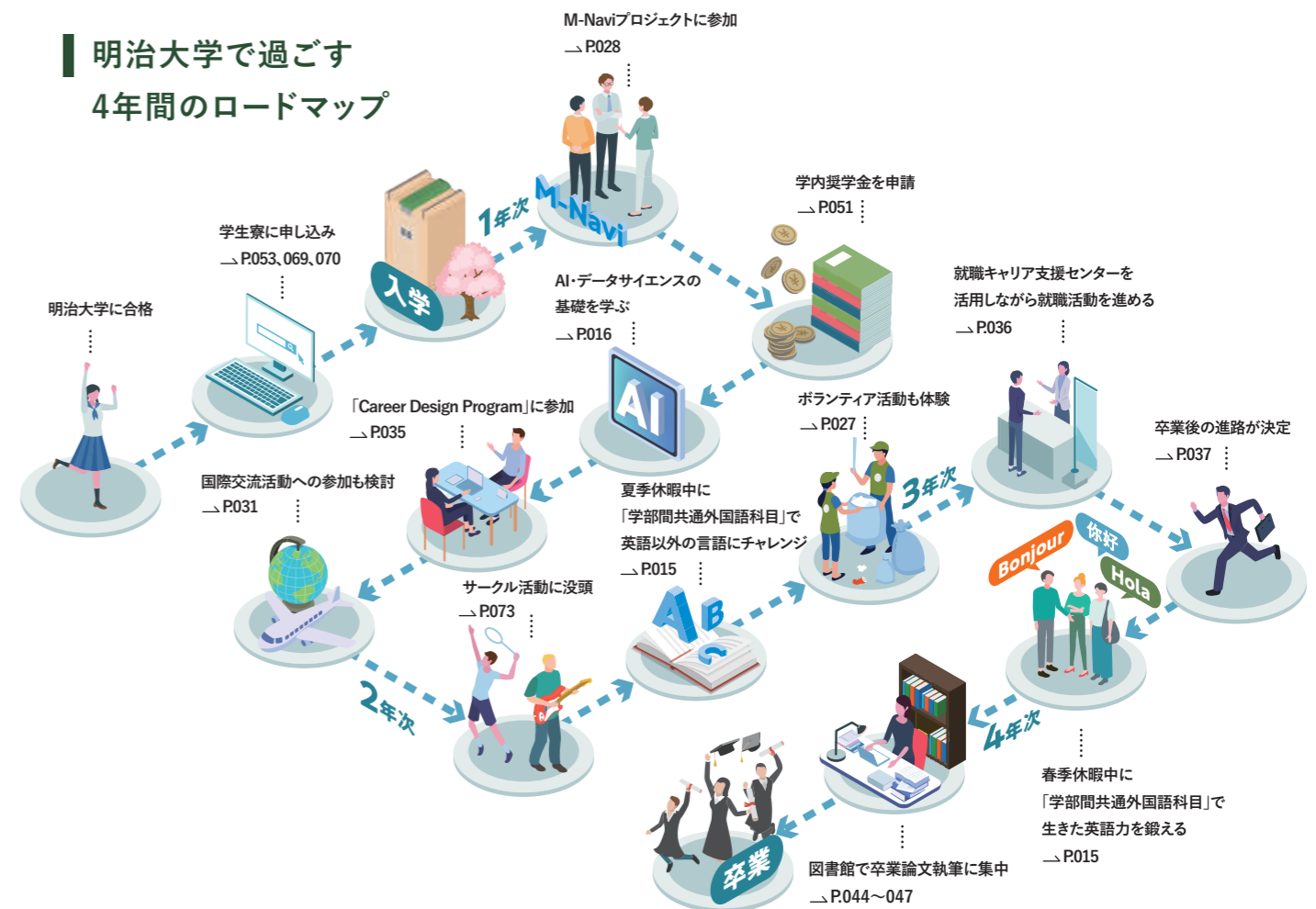
#### ▶ 課外活動

サークル活動やボランティアなど、成長の幅を広げる正課外の活動に取り組む機会も豊富。多様な経験を通じて、社会性や自主性も育まれます。

#### ▶ 留学

世界中の多様な価値観や考え方を学ぶことで、国際感覚が養われ、異文化コミュニケーション力が高まります。

## 明治大学で過ごす 4年間のロードマップ



明治大学入学後の経済的負担を軽減したい人へ

## おお明治奨学金

年間授業料の1/2相当額を4年間給付



明治大学への入学を希望する高校生の経済的負担軽減を目的として、一般選抜出願前の12月下旬に採用を内定する奨学金制度を用意しているため、奨学生に内定してから明治大学に出願することが可能です。給付期間は4年間で、授業料の2分の1相当額を給付。成績や収入基準を満たす者を対象に、約1,000名に給付を行います。全額返済不要のため、4年間の学費を国立大学並みに抑えることができます。



詳細をCHECK

思い×ビジネス=「起業」にチャレンジしたい人へ

## 起業・スタートアップ支援

起業はキャリアの選択肢。本気で目指す学生を支援



2025年4月に開設した「起業・スタートアップ支援室」では、起業にチャレンジしてみたい明大生を後押しする、豊富な取り組みを行っています。アントレプレナーシップ(起業家精神)教育として、全学共通総合講座「明治起業家学」・「明治スタートアップ学」を設置するほか、経営学部では、起業への段階に応じた講義科目を設置。明治ビジネスチャレンジ(ビジネスコンテスト)も開催し、最優秀賞受賞者には、1年間の起業サポートと賞金100万円が授与されます。明治ビジネスチャレンジ発の起業家も多数輩出しています。今後も、明大生への起業相談や専門家によるセミナーの開催、校友・学外団体との連携などを通して、幅広い起業支援を展開します。



詳細をCHECK

日頃から国際交流に浸かりたい人へ

## Meiji Global Village / 狛江International House

日常的な国際交流が叶う明治大学の学生寮



明治大学では、留学生と一緒に生活できる明大生専用寮を2箇所整備しています。和泉キャンパス徒歩1分に位置するMeiji Global Villageは、授業以外の時間も異文化に触れながら学べる環境を意識した空間が特徴的な国際混住寮。狛江International Houseでは、プライベート時間の確保と寮生同士の交流のバランスにこだわった環境づくりがなされています。



詳細をCHECK

世界ランキング上位校への留学にチャレンジしたい人へ

## 海外トップユニバーシティ 留学奨励助成金

1人あたり1学期最大400万円を助成



世界ランキング上位校に留学する場合、返還不要の給付型助成金を受給することができます。留学対象校は、世界屈指の名門大であるペンシルベニア大学、コロンビア大学、カリフォルニア大学バークレー校など。1学期あたり最大400万円が支給されます。



詳細をCHECK

地域を舞台に実践的に学びたい人へ

## 地域連携推進センター

全国自治体と学生の連携による地域振興を推進



明治大学における社会連携・地域貢献の推進役を果たしているのが、地域連携推進センターです。明治大学の3人の創立者の出身地である鳥取県鳥取市、山形県天童市、福井県鯖江市や、4つのキャンパスと関係が深い東京都千代田区、杉並区、世田谷区、中野区、神奈川県川崎市をはじめ、全国各地の自治体と連携。住民の生涯学習推進、文化・産業等の振興など、地域の課題に応じた事業を展開して地域社会をサポートするほか、各地域と連携した学生提案などの地域振興活動の推進にも力を入れています。



詳細をCHECK

「誰かのために」を全うしたい人へ

## 明治大学ボランティアセンター

学生のボランティア活動をすべてのキャンパスで支援



明治大学は、学生のボランティア活動を全学的に支援しています。学生が、社会性や自主性を備えた、社会に有用な人材に育つことを目的としています。駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパスにボランティアセンターがあり、ボランティアサークル、有志団体、個人、そのほか多様な形のボランティア活動について、スタッフが相談に乗りサポートし、様々な情報を提供しています。また、各キャンパスが立地している自治体や地域と連携・共同して、「防災」「福祉」「サイエンス」「社会連携」など、様々なテーマのプログラムも開催しています。



詳細をCHECK

演劇に深く携わりたい人へ

## シェイクスピアプロジェクト

21世紀の新しいシェイクスピアを目指して



20年以上にわたって続く、翻訳・上演・企画運営のすべてを学生が主体となり行うシェイクスピア劇上演プロジェクト。サークルやゼミからは独立した団体で、学生がプロとコラボレーションして運営されています。「学生だからできない」という考えを持たないことをモットーに、学部の垣根を越えて取り組みます。



詳細をCHECK

ピアサポートを通したキャンパス環境整備に携わりたい人へ

## M-Naviプロジェクト

明大生による明大生のための活動



学生による学生のための支援活動(ピアサポート)の理念に基づき、多様性を大切に、誰もが参加しやすい環境づくりや持続可能な社会につながる活動をバックアップします。学生のやりたい!を実現する「提案型」と、M-Naviピアサポーターズに所属し、教職員のサポートを受けながら、大学の指定プロジェクトを推進する「常設」の2つの部門を設置しています。すべての学生の「個」を磨き、「前へ」と進むキャンパス環境整備を目指します。



詳細をCHECK

#05



「個」を強くする

# グローバル人材育成力

多様なあふれる大学を目指す明治大学は、国内外から多様な学生を受け入れ、キャンパス内外での国際交流の機会を充実させています。

行きたい場所に自ら一歩を踏み出す学生が数多くいるのは、そうした「グローバル」な環境が身近にあるからこそ。

もっと広い世界を見たい、異文化の中に飛び込みたい。そう思ったその瞬間から、世界への挑戦は始まっています。

ど  
へ  
だ  
っ  
て  
行  
け  
る。

留学生受け入れ数

2,319人

海外留学者数

2,101人

留学できる協定校\*

47カ国・地域

278大学・学部

※海外協定校は385校(2026年1月末現在)

## 学生生活の舞台は世界各国に

明治大学から中長期留学できる協定校は、アジア、欧米をはじめ世界47カ国・地域に広がっています。総数278校、さらには各学部が独自に行う留学プログラムの中から、応募時期や語学力、自分の目標に応じた行き先を選ぶことができます。現地の生の言語や文化に触れることは、語学力の向上はもちろん、異文化理解や国際的な視野を養うにも絶好のチャンス。多様な価値観の中で主体的に学び、考え、行動する経験は、自分自身の確かな自信と成長へとつながります。

## ここで世界が身近になる理由

世界を知る方法は、海外留学だけではありません。国際混住寮での生活、留学生との交流イベント、学部の授業やゼミ活動で実際に海外へと足を運ぶアクティブラーニングも、明治大学が提供する国際交流の機会の一つ。そうした日常的に異文化に触れる日々が視野を広げ、実際の世界を知るフィールドワークの機会が、「もっと知らない世界を見てみたい」という意欲へとつながっていくのです。もちろん、その思いに応えるだけの海外留学プログラムを用意しています。

### ヨーロッパ 99校

- イギリス(9)
- フランス(27)
- オランダ(2)
- ベルギー(1)
- スウェーデン(5)
- フィンランド(1)
- ノルウェー(4)
- ドイツ(17)
- オーストリア(3)
- ブルガリア(1)
- スイス(2)
- ルーマニア(2)
- ポーランド(2)
- リトアニア(2)
- イタリア(7)
- ハンガリー(1)
- セルビア(1)
- スペイン(5)
- ポルトガル(1)
- ロシア(5)
- デンマーク(1)

### アジア 93校

- 韓国(22)
- 中国(22)
- 台湾(12)
- 香港(3)
- インド(2)
- ベトナム(6)
- マレーシア(5)
- シンガポール(3)
- タイ(7)
- インドネシア(6)
- フィリピン(3)
- ラオス(1)
- スリランカ(1)

### アフリカ 4校

- ガーナ(1)
- セネガル(1)
- モロッコ(1)
- 南アフリカ(1)

### 北米 65校

- カナダ(7)
- アメリカ(58)
- 中東 1校
- トルコ(1)

### 中南米 8校

- メキシコ(2)
- ブラジル(3)
- アルゼンチン(1)
- コロンビア(1)
- チリ(1)

### オセアニア 8校

- オーストラリア(8)

合計

278校

(2026年1月末時点)



国内での国際交流

Pick Up 明治大学グローバル・ヴィレッジ (MGV)



留学プログラム

Pick Up フロリダ州立大学 ディズニー・アカデミック・インターンシッププログラム



海外でのアクティブラーニング

Pick Up 国際日本学部 山脇啓造ゼミによる海外合宿

CHECK



世界で学ぶ明大生の「留学体験記」



MeijiNOW GLOBAL

国内で「グローバル」と出会う

## 国内での国際交流の機会

学内・学外を問わず、学生が積極的に異文化を体験し、刺激し合い、リーダーシップや異文化理解力が育まれる環境を整備しています。

### 明治大学グローバル・ヴィレッジ (MGV)



日本人学生と留学生がユニット式の居室で生活をともにしており、日常的な異文化交流が可能です。―― 詳細はP.053

### 米国テンプル大学 ジャパンキャンパス



単位互換協定を結んでおり、明治大学から学生を派遣しています。授業はすべて英語で、国内にいながら留学体験ができます。

### グローバル人材育成プログラム MAGIC-L



文化背景や母語が異なる学生が、調査や議論・課題解決を通して、国際協働スキルを高める科目を設置しています。

学生同士が出会い、学び合う

## 学生主体の国際交流の機会

日本人学生と留学生との交流を促進し、キャンパス内での異文化交流や学びの場を整備しています。

### 言語交換プログラム Language Exchange Program



学生が母語または得意な言語を教え合いながら、外国語の会話力向上と異文化理解を深める場をキャンパス内に創出しています。

### “学生による、学生のための”国際交流団体



**Campus Mate** **MuBO**  
国際教育センター公認の学生団体。留学生とつながることのできる国際交流イベントを、年間を通して開催しています。

リアルな海外を肌で感じる

## 中長期プログラム

### 協定留学

学部を問わず、協定校に半期または1年間留学できる制度です。交換型留学の場合、現地の授業料は免除されます。4年間での卒業も可能で、経費を支援する奨学金への応募もできます。

PICK UP

### 海外トップユニバーシティ 留学プログラム



世界の名門校に1学期最大400万円の助成金を得て留学できます。

### ダブル／デュアルディグリー プログラム



明治大学+海外大学で計4~5年間学び、双方の大学で学位が取得できます。(対象学部のみ)

### 国連ユースボランティア



国連事務所で約5カ月ボランティア活動を行います。実施校は国内4校のみ。

## 短期プログラム

語学・異文化理解から専門学習、海外実習まで多彩な短期留学プログラムを提供。海外留学挑戦を支援するため「国際化サポート海外留学奨励金」制度を設けています。

PICK UP

### UTM Study Tour



英語でマレーシア文化やSDGsについて学びます。

### マクマスター大学



週約30時間の授業を通じ、英語に自信をつけられます。

### アメリカ・グローバルキャリア プログラム【夏季】



アメリカにて4日間の合同ビジネス研修と、2~3週間の実地研修を行います。

## 誰もが安心して留学できるサポート体制

### 返還不要の助成金がもらえる

協定留学・認定留学制度を利用する場合は、「明治大学外国留学奨励助成金」に応募でき、海外への挑戦を後押しします。円安や物価高への支援として、2027年度からは経費助成額が倍増します。<sup>\*1</sup>

	現行制度		新制度	
授業料助成 <sup>*2</sup>	本学授業料相当額		本学授業料相当額	
経費助成	1学期間	15万円	一般枠	成績優秀者枠
			1学期間 25万円	1学期間 50万円
	2学期間	30万円	2学期間 50万円	2学期間 100万円

助成金受給率 約71%!

<sup>\*1</sup> 上記は助成額上限です。支給額は年度によって変わる場合があります。

<sup>\*2</sup> 留学先授業料支払いが必要なプログラムのみ。

### 充実した留学相談体制

専門カウンセラーや留学経験者、教員らによる各種相談制度を設けています。語学準備から、留学先の情報収集、渡航前後の不安解消まで、一人ひとりに寄り添いながらサポートします。

### 4年間での卒業が目指せる単位認定制度

協定留学・認定留学は、明治大学に在籍したまま留学ができる制度です。留学先で修得した単位は、所定の手続き・審査を経て卒業単位として認定されるため、4年間での卒業を目指すことができます。

### 留学経験を活かすキャリアサポート

就職キャリア支援センターでは、留学と就職活動の両立に向けて、留学前のガイダンスや留学経験者との座談会、留学中の個別相談を実施しています。また、留学経験を強みにできるよう、エントリーシートや面接対策まで、丁寧にサポートします。

## >> Student Voice 留学体験記



丸山 凌平さん 経営学部経営学科3年 神奈川県立川和高等学校卒業

留学先 ニューヨーク州立大学バッファロー校

留学経験者の体験談を聞く機会や説明会を通じて、漠然としていた留学のイメージや時期を具体化することができました。私が挑戦を決めたのは、ニューヨーク州への大学間協定留学。専攻している経営学についての学びの充実度と、課外活動にも打ち込める環境が決め手になりました。現地では、積極的な発言と行動を心がけ、高い主体性を養うことができたと思います。今後は海外インターンシップへの挑戦を計画。国際ビジネスの知見を広げたいと考えています。

1年次 4-9月	1年次 11-2月	2年次 5-8月	3年次 5月
留学プログラムの検討 英語の資格試験勉強	学内応募、選考 留学先へ願書提出	渡航前準備 出発	帰国